

SSKR

CIL東大和通信

第
18
号

編集 NPO法人 自立生活センター・東大和

〒207-0013 東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F

TEL : 042-567-2622 FAX : 042-567-2912

EMAIL : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp

発行所 東京都世田谷区砧 6-26-21

障害者団体定期刊行物協会 定価 100円

もう三月です家
でくま



チャパーティーでも
さみこみませんか!

左上・1月8日ダスキン研修生・歓迎会より

| | |
|------------------------|--------|
| 1. 総合福祉法の動き | p2,3 |
| 2. 東大和市 総合福祉センターをめぐる動き | p4 |
| 3. ダスキン研修生 | p5 |
| A 歓迎会 | p5,6,7 |
| B 報告会 | p8,9 |
| 4. みんなの作品展 | p10,11 |
| 5. ユースパワーネット | p11 |
| 6. 福祉祭 | p12 |
| 7. 車イス体験の報告 | p13 |
| 8. 大忘年会 | p14,15 |

※はさみこみお知らせ お花見のお知らせ 各種イベントチームメンバー募集・計2部

1. 総合福祉法の動き

「障がい者制度改革推進本部」設置！

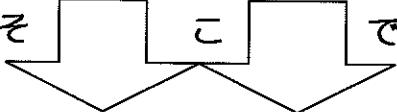
障害者福祉制度改革に当事者の声が生かされることが決められました。

長妻厚労相 が 障害者自立支援法の廃止を決意！
→新しく「障がい者総合福祉法（仮）」が制定される方針に決まりました。

今までの障害者自立支援法は、自立とは名ばかりの法律で、精神障害のある人も福祉サービスが使えるようになった等の進歩は見られましたが、

- 多くの障害者・障害者団体の猛反対の声が挙がっている中で決められた。
- 利用者に対する定率の自己負担。
- 国庫負担の実質的引き下げで、市町村ごとのサービス支給量に著しい格差が生じた。

その他も etc... と、いったように作られるときから内容がおかしかったのです。

そ  こ で

9月に民主党政権が誕生し、政府が鳩山首相を本部長にした、「障がい者制度改革推進本部」を設置し、本部内に「制度改革推進会議」を設けることを決めました。

この「制度改革推進委員会」は

メンバーの過半数以上を障害当事者・障害者団体幹部にすることで、
お客様として参考意見を聞かれるということではなく、制度をつくる話し合いの段階
から障害者も委員になるので、かねてから訴え続けてきた、

「自分たちのことは、自分たちで決める」ことが実現できると期待されています。

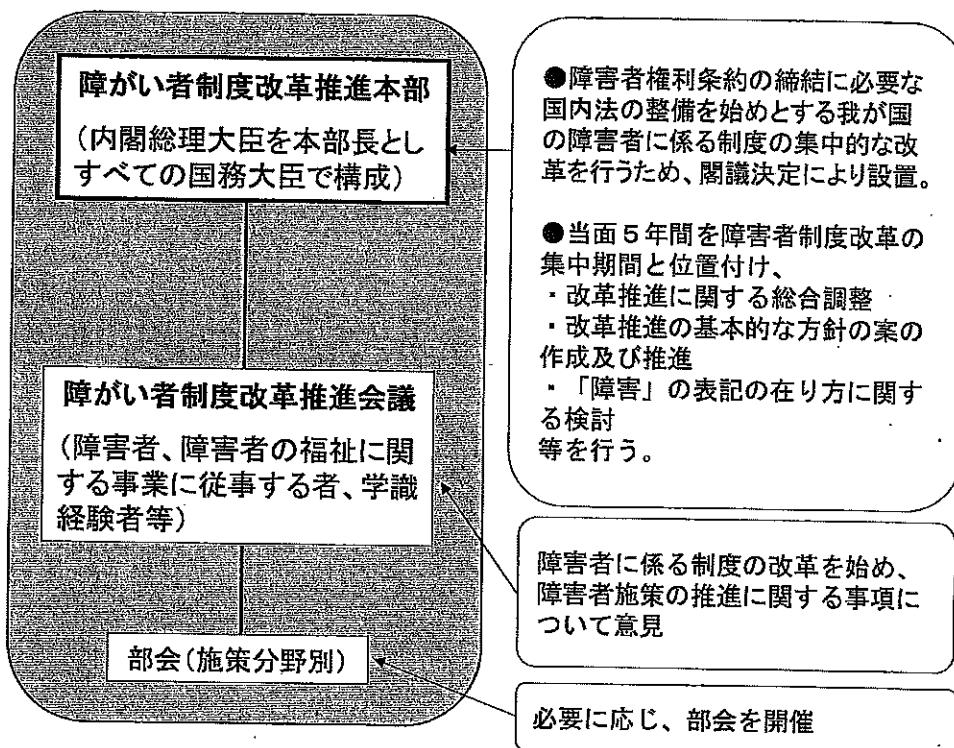
障害者も委員になるということは、決める内容にも責任をもつということなので、
権利を勝ち取ったと同時に責任も預かったということです。また、委員に障害者がいても、その人たちだけに任せていればよいのではなく、障害者ひとりひとりがどんな制度が良いかを考え、伝えていく必要があるでしょう。

とにかくにも、この会議の設置は、今後、国連で成立した「障害者権利条約」への批准に向けた適切な国内法の整備、障害者の豊かな地域生活につなげる大改革となります！大興奮です！会議は、傍聴、議事録公開や会議の様子のインターネット配信などにより、最大限公開していくそうです。しっかりと見守っていきましょう！

第1回障がい者制度改革推進会議議事次第資料より

資料2

障害者制度改革の推進体制



【新たな推進体制の下での検討事項の例】

- ・障害者権利条約の実施状況の監視等を行う機関(モニタリング機関)
- ・障害を理由とする差別等の禁止に係る制度
- ・教育
- ・雇用
- ・障害福祉サービス
- 等

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

内閣府 政策統括官 障害者施策ホームページ 障がい者制度改革推進会議から見ることができます。

○ 総合福祉センター建設への道 ○

東大和では市長公約としてH22年度に総合福祉センター開所予定でした、市民合意の問題や、事業内容について問題があり、基本計画が定まりきらないまま延期になっていました。そこでCILが代表を務める東大和障害福祉ネットワークで「市民代表を含めた基本計画策定検討委員会の設置」を求める陳情を提出。議会で採択され、2009年度には事業内容について、再度1年間かけて検討してきました。

しかし、その検討委員会初日の市長の挨拶にあった、「基本計画策定後の、建設の時期については、市の経済状況を見ながら総合的に判断したい」という姿勢は、最後まで変わることなく、12月議会でも、「基本設計の予算請求をおこなっている」という福祉部長の発言のすぐ隣で、「建設の時期については慎重に考えたい」という市長発言が繰り返されました。議員からは、「建設に莫大な予算が必要だということなど、最初からわかっていたこと。せっかく市民合意も得られた基本計画原案ができたのだから、今さらお金がない、という理由で踏みとどまるのはおかしい。」という意見の一方で、「建設が難しいことは、この経済状況からは明らか。潔く凍結の決断をして、緊急に必要な事業を別の形で提供していくよう、検討を開始するべきだ」という声まで上がりました。

そこで、東大和障害福祉ネットワークとして、12月議会に再度、「総合福祉センターの早期建設を求める陳情」を提出しました。陳情は、12月10日と2月9日の厚生文教委員会で審議されましたが、結果は、「継続審議」。

そして2月9日に開催された検討委員会で、「市の財政状況が好転するまでは、建設を延期する」という市の判断が告げられたのです。

「緊急に必要な事業についての代案は！？」

「景気好転っていつ！？」

「市有地を売却して予算をひねり出せないの！？」

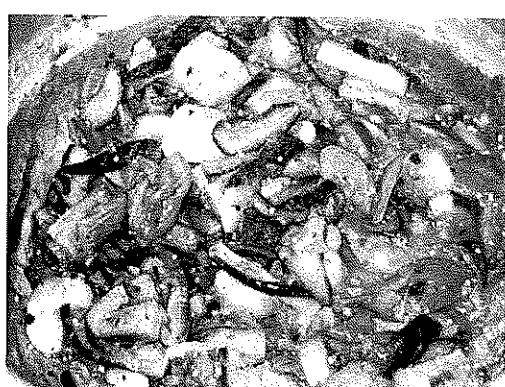
などなど、さまざまな意見が出ましたが、全国で下から3番目の赤字状況といわれる東大和市。財政状況の好転といつてもなかなか・・・総合福祉センターの建設は、無期延期となりそうです・・・。

「計画」というものは、変更を余儀なくされることもあるでしょう。8月に開催された財政説明会を見ても、実際に経済状況が厳しいのは理解できます。私たちが求めているのは、ハコモノというわけではなく、必要な社会資源を増やし、埋もれたニーズを拾い上げ、溢れたニーズを満たせる環境です。せっかく、何年もかけて、最後には市民代表を含めた検討委員会でまとまった基本計画。相談窓口は週末にも開かれることになり、生活介護では給食ではなく厨房で各利用者に合わせて作られることになり、ショートステイや日中一時預かりも事業に組み込まれ、センター自体は24時間365日の運営を目指す、としっかり明記された計画です。無駄にならないように、今後も見守っていきたいと思います。

3. ダスキン研修生 A. 歓迎会編

自立生活センター東大和では何年も、ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業の研修生を受け入れており、今年はネパールからジャムナ・スペディさんが研修に来ました。

ジャムナさんは、ネパールで人権センターというところで働いていましたが、カトマンズに出来た自立生活センターに関心を持ち、そこで働くために、日本で自立生活センターのこと、障害者福祉のこと、その他の障害者の生活に関わる様々なことを学ぶためにやってきました。ジャムナさんは、9月に日本に来て、3ヶ月間日本語の訓練をして1月7日に、研修先1番目の自立生活センターの東大和に来るという運び。



その翌日、1月8日（金）に中央公民館実習室で、ジャムナさんの歓迎会を開きました。歓迎会では、日本とネパールそれぞれの国の料理を作って、国際交流をしました。日本料理は煮込みうどんを、ネパール料理は、チャパティというナンのようなものと、プラウと言うココナツ・バターライス、チキンカレー、野菜カレー、ヨーグルトサラダをつくることにしました。



13:00から準備開始です。どちらの国の料理も材料から全て作りました。参加者19人分もつくったので、ものすごい量でした。

ジャムナさんの「歓迎会」でしたが、ジャムナさん、ネパール料理のため大忙しです。チャパティのために小麦粉を練って伸ばし、フライパンで焼いたかと思えば、次はチキンと野菜のカレー作りスタート！！ターメリックやガラムマサラ等、スパイスからつくっていたので本格的なネパールカレーの出来上がり☆

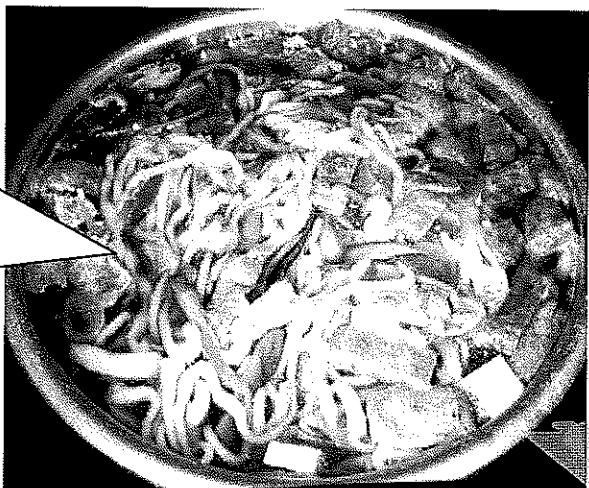
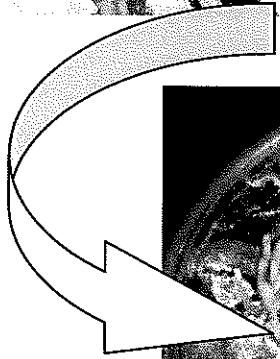
煮込みうどんの方は、練ったうどん粉を二重にしたビニールに入れて、電動車いすで練るとかなりコシの強いうどんが出来るんです(川○慈英風)。

材料を切る、だしを取る等、皆で協力してつくりました。

ひびひび!!



わいわい~

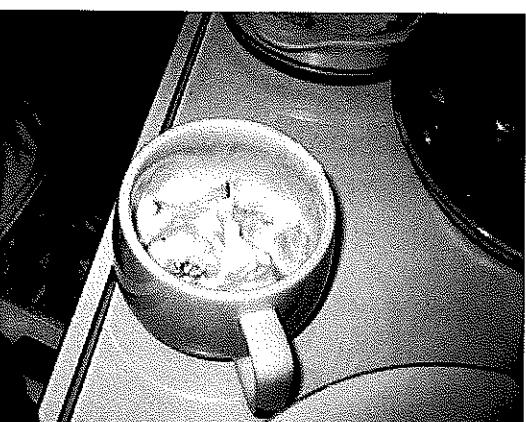


元

気☆

17:00から食事をとりつつ歓迎会開始です。ネパール料理も、日本料理もとても美味しいくて、量も盛りだくさんでしたが、全て完食!!皆さんに大好評でした。

ジャムナさんにネパールの事を聞いたり、逆に日本のこと質問されたりとお互いに知り合い、親睦を深めることができました。



B. 報告会

ダスキン研修生のジャムナ・スペディさんがCIL 東大和での研修を無事終えました。事務所の3人の女性当事者の家に交代でホームステイしており、センターの研修以外でも充実した研修になったようです。

1月19日にCIL 東大和事務所にて研修報告会をしました。2週間の中で感じ、考え、学んだことを発表してもらいました。

報告終了後の質疑では、

研修前は、文化の面等、親しく出来るかどうか心配だったが、うまく馴染めて良かった。

ネパールの障害者やその周囲の状況について聞くと、バリアフリーの設備はまだほとんど無く、教育を受けられる障害者もほとんどいない。障害者本人も両親も抑うつ状態であったり、社会の中でも障害があるのは、悪事の罰だと考えていたりする。政治のシステムが五年前に、王制から民主制(大統領制)に変わったが、まだまだやり方が定まっていない。また、慣習としてカースト制度が根強いということで、国内では、カーストの階級によるもの、障害者であること、女性であること等、二重、三重の差別に苦しめられている人もいると言うことでした。

帰国後のことについて、ネパールでは、予算が議員や資産家といった権力者に吸い上げられて、低所得・貧困層に平等に分配されないといった問題があるが、現政府に向けて、障害者政策や国家運営について提言し、訴えていく一方で、地域の障害者が自信を持って暮らしていくために、カトマンズの自立生活センターで相談支援やエンパワーメントしていきたいということでした。



介助もなかなかうまいジャムナさんです。
最終日、ジャムナさんにコメントをもらいました。

きょうはわたしのひがしやまとじりつせいかつセンタにさいごのひです。わたしはひがしやまとじりつせいかつセンタでいろいろなことばをしりました。たとえばどうやってじりつせいかつすることができますか、このことばをしりました。いろいろなしょうがいをもっているひとはなしていろいろなことをしりました。いちばんたいせつなことばはじぶんにつよいじしんをもつことです。



東大和での研修の後は、スキー合宿でリフレッシュした後、沖縄のセンターで研修再開です。違う国で約一年にわたる研修で大変ハードだと思いますが、目標の実現に向けて頑張っている姿を見て、こちらも頑張らないとなと思いました。

4. みんなの作品展

10月8日(木)・9日(金)に中央公民館ホールで行なわれたみんなの作品展にCIL活動&TRY報告のパネル展示をしました。

今回、自立生活センター東大和は、初めてみんなの作品展に参加しました。展示内容は、自立生活センター東大和の活動紹介と「2009 ASIA TRY in 台湾」の活動報告で、8日まではパネルに貼り付けるポスターを作るのに大忙でしたが、その甲斐あって、ポスターを目にした多くの人に「見やすい」といってもらいました。自立生活センターのコーナーの前で「台湾TRY成功おめでとう」、「野宿旅なんて、すごいことをやったね」と言ってもらったりと、体験を伝えることが出来たようです。



自立生活センターの活動紹介では、障害分野の団体の方たちには、よく認知してもらっているのですが、それ以外の方たちや来場者にはあまり知られていないかったので、すぐ近くの出展団体さんに、「あるのは知っていましたが、どんなことをやっているのかは知りませんでした。」と言われ、初参加ですが、センターを知ってもらうという意味でも、様々な催しに参加することは重要だと思いました。

みんなの作品展は、今年で20年目を迎え、計25団体が参加しました。中央公民館のホールはぎっしり参加団体の展示品でいっぱいになり、多くの団体が協力し合っていることが実感されました。

また、20周年ということで、ハーモニカやウクレレ等の演奏会が午後に行なわれ、大盛況でした。

作品展は、9日の16:00に終了し片付けも滞りなく完了しました。



自立生活センター東大和は、今後もみんなの作品展に継続的に参加していく予定です。

来年は利用者さんたちと皆の作品展に展示をしたいと考えています。

一緒に楽しみましょう。来年もよろしくお願いします。

Oo.. o OOOOo.. o OOOOo.. o OOOOo.. o OOOOo.. o OOOOo.. o O

5. ユースパワーネット

CIL 東大和も加盟している、全国自立生活センター協議会（JIL）ではユースパワーネットという試みがスタートしました。

自立生活運動を引き継ぐ、次の世代を盛り上げていくために40代以下の障害当事者が全国のCILから集まり活動し始めて、まずは、2月に行なわれるJIL全国セミナーでプログラムを一コマ受け持つことになっています。

今後、様々な活動をやっていく予定です。

活動に関して隨時報告させていただきます。

6. 福祉祭「フランクフルト出店についてフランクに話そう」

～この感想はドイツんだ？☆～

あまり、お役に立てなかった気がしますが、お店は大盛況で良かったです。利用者の皆さんも、売り手側で参加したら楽しいと思うので次回は、ぜひ参加してみて下さいね！石井

「骨付きフランク～」と名乗って売っていましたが、売っている途中で、付いているのは実は骨ではなく、木の棒だったことが発覚！！お客様から指摘されるまで気付きませんでした！

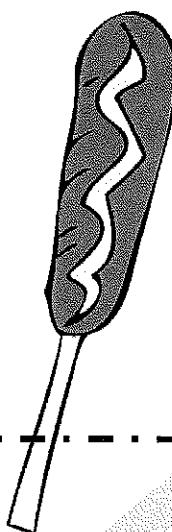
ごめんなさい。kb

午前中は熱にうかされながらフランクフルトを焼きました…。元気だったらフランクはもちろん、他のお店のものもいっぱい食べたかったのにー！無念です(>_<) 来年こそは！！ 高沼

今年の福祉祭はポカポカ陽気でした。人出も多く、お風過ぎには200本のフランクは完売！定番になってきたジューシーフランクを来年もよろしくね。TB

運送係です
テント、テーブル、出店グッズの運び屋。手なれたもので、撤収もさっさと行ってしまって2時には運びは終了でした。事務所で下ゆでしたフランクを現場に三回はこびました。11:00ごろには「早く持てこい！！」の連絡をうけて、交通安全第一にぶっとばして持っていきました。

今年もあっという間に売り切れたフランクフルト！！売れ残るとイヤだからと言いつつ、売り切れるともっと本数を増やせばよかったと欲が出てしまう…、これ毎年のこと。k



フランクフルトを売り始めて早や何年?? お店のレイアウトも年々上達してるので

は！？

CIL の紹介のパネルをじっくり読んでくれる人も出てきて、うれしいです。EB

3日前にかかった“例の”新型とバトル中でした。フランクフルト加熱中に、みずからも発熱！！40℃とはっ…、恐るべし。kk

7. 車イス体験の報告

2009年11月26日に東大和第二中学校で車イス体験の出前講座に行ってきました。CIL 東大和はボランティア会の方と協力して行ないました。CIL 東大和からは、4人の障害当事者が参加して、前半に各当事者の障害や生活の話をしました。

後半からは、実際の車イス体験です。生徒2人1組になり、手動車イスを押す役、乗る役を交互にこなします。道幅にポールを立てそこを通過したり、段差やスロープを越えたりしました。その後、体育館から校舎、グラウンドに出て、行なわれました。

「楽しい」というような声ちらほらと聞かれましたが体験を積むにつれて、押す役割の人は「気をつけないと」、「なかなか前輪が持ち上がらない」といった声に変わり、乗る側も「きちんと合図がないと、スピードが速すぎると怖い」といったものに変わっていきました。後から、第二中学校からいただいた感想集によると、少しの段差でも車イスユーザーの人にとっては大変なことなのだといった内容もあり、バリアフリーのことをきちんと意識してもらえたので成功だったと思います。



さて、1月の半ばごろ、出前講座を受けたのかなと思われる中学生の子に道端で挨拶をされました。小さいことかもしれません、これも好転の一歩です。講座の中でも触れましたが、心のバリア(偏見や差別)フリーが何よりも難しいことです。障害者が進んで、自分たちのことを話していくことで、障害があっても、障害のない人と変わらない一人間なんだということが伝わるのではないかでしょうか。

8. 大忘年会

12月18日(金)に自立生活センター東大和の事務所内で忘年会を行ないました。

16:30から受付開始だったので、色々な物品の移動や飾りつけ等を総出で行ない、テーブルクロスを引いてみたり、入り口にモールを張ったり、いつもの事務作業の場所より少し華やかになりました。今年もお弁当は作業所のばるさんにお願いしまして、こんな美味しそうなお弁当でした。



当日の参加人数は全員で29名。それだけの人数が集まるともう満員御礼。人口密度が高いので、心もほっかほっか?になりましたね。内容は、新しいメンバーの紹介や一年間のイベントの振り返りスライドショーでした。

今回、初めて参加してくれた方が2名、団体での参加で2度目の方たちがいましたので、一通り、自己紹介をお願いしました。そして、紹介の最後の方がクラシックギターの演奏を披露してくださいり、巧みな演奏に会場は大盛り上がりでした。



18:00くらいからスライドショーを始めて、全8イベントを振り返り、一つ一つのイベントが終わるごとに、参加者の人に感想を聞きました。一人の話から自然と他の人に移っていき、和気藹々とした雰囲気になりました。



編集後記

私事で恐縮です。9月にTRYから帰ってきて少し気が抜けてしまったのか、11月初頭にインフルエンザでダウンしまい、事務所復帰まで一ヶ月…、かかってしまいました。色々な方に多大なご迷惑とご心配をおかけしました。自立して2年突破しました。改めて人の輪の中で生きていると感じます。冬。

小日向

<会費納入のお願い>

NPO法人 自立生活センター・東大和は皆様の会費が運営資金となっております。今後も障害を持っていても自分らしい地域生活を送るために必要な様々なサポートを提供していくためご協力をお願いいたします。



個人会員：3,000円／1口
賛助会員：3,000円／1口
団体会員：10,000円／1口

<受付時間>

平日9:00～18:00

緊急連絡はいつでもつながります

NPO法人 自立生活センター・東大和

〒207-0014

東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F

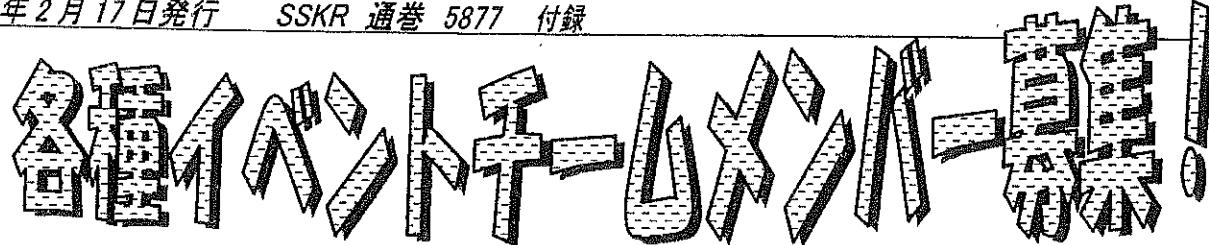
TEL : 042-567-2622

FAX : 042-567-2912

EMAIL : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://cil-ymt.com>





CIL 東大和では、毎年さまざまなイベントを企画しています。

でも、イベントって、企画を練ったり、準備していく部分が、
本当はやりがいがあっておもしろいんですよ！



そこで・・・2010年度の各種イベントを、スタッフとともに
盛り上げてくれる「チームメンバー」を募集いたします！

もう普通にイベントに参加するだけじゃ物足りない・・・という人。

我こそはオモシロ企画をひねり出すぞ！という人。

もっとスタッフと絡みたい・・・という人。

お待ちしております☆



各種イベントは、下記の通り☆

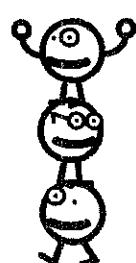
- お花見：4月3日（土）@東大和南公園 担当：田渕・小林
- みんなの作品展：9月（予定？） 担当：海老原・高沼・小林
- 福祉祭：11月第2日曜日？ 担当：田渕
- 近隣のCILとの合同イベント：大運動会 現在呼びかけ中 担当：小日向・高沼
- 忘年会 担当：小日向



なお、チームメンバーは、利用者さんに限りません。アテンダントさんでも、
「派遣だけじゃなくてイベントにも絡みたいYO☆」という方、大歓迎！

どしどしご応募くださいね！

応募先



NPO法人 自立生活センター・東大和

TEL : 042-567-2622

FAX : 042-567-2912

Email : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp

